

# 007 健康経営 取り組み事例

企業  
プロフィール



SOMPOヘルスサポート 株式会社

業種 33 サービス業  
従業員数 296名(2022年度末)

## 01 目的

SOMPOグループの「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献する」というグループ経営理念の実現に向け、当社の経営理念である「より多くの『ことと身体』の健康の実現に貢献」を実現するという社会的使命がある。使命を果たすためには、社員一人ひとりが健康であることはもちろん、健康に関するプロフェッショナル集団であることが不可欠である。さらに、リーディングカンパニーであり続けるためには、仕事にやりがいを持ち、風通しが良く、活力に満ちた企業風土が極めて重要である。

## 02 課題・目標

### 健康経営で解決したい経営上の課題

健康経営で解決したい経営上の課題	課題 ③ 中長期的な企業価値向上
健康経営の課題	当社の経営理念である「より多くの『ことと身体』の健康の実現に貢献」を実現するために、社員一人ひとりが自身の健康保持・増進に主体的に取り組み、高い倫理観と高い職業意識を持ち、パフォーマンスを最大に発揮することで、企業価値を高めていくことが経営課題である。
健康経営の実施により期待する効果	具体的効果 (KPI) ●エンゲージメントの向上(目標3.54) ※ギャラップ社の従業員エンゲージメント調査により測定 プレゼンティーズムの改善(目標100%) ※WLQにより測定 アブセンティーズムの改善(目標2.0日) ※傷病による欠勤・休職の平均日数

### 自社従業員(組織)の課題と目標

#### 重点課題1 ⑬ 生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容	疾病発症リスク・生活習慣病リスクの顕在化			
目標	健康診断再検査受診率の向上			
	数値	単位	年度	
取引前実績値	53.5	%	2021年度	
現在の実績値	56.0	%	2022年度	
目標値	100	%	2025年度	

#### 重点課題2 ⑩ 生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容	定期的なリスク度チェックや予防意識の醸成			
目標	2024年度からの新たな重点施策のためKPIは今後決定			
	数値	単位	年度	
取引前実績値	-	-	-	
現在の実績値	-	-	-	
目標値	-	-	-	

## 04 健康経営の成果

### 経営上の課題に対する健康経営の成果

適正体重維持者率 2019年72.4%→2022年73.9% / 喫煙率 2019年9.8%→2022年9.4%  
 血圧リスク者&血糖リスク者 2022年度0.0% / メンタルヘルス不調者(休務者) 2022年度 新規発生0件

## 03 施設・実績

### 健康経営の取り組み

#### 施策内容(重点課題1)

従業員健康リテラシー向上を目的とした情報提供、当社基準での保健指導の実施

#### 具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	社内保健指導
内容	当社独自の保健指導基準を設け、保健師および産業医による面談を実施
導入時期	2021年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保健指導実施率:100%</li> <li>●2022年度よりリスク保有者へのアプローチを開始し、保有リスクを分類し、産業医および保健師の面談を実施した。今後はいかに本人の行動変容(定性)および健診結果(定量)の改善に繋げていくかが課題である。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	LLax forest
内容	健康情報提供サービス(動画配信)
導入時期	-
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広いテーマでのヘルスリテラシーの向上。</li> <li>●2022年度より、各施策に合わせ、四半期に1回、テーマを分けて配信している。従業員の健康リテラシー向上および生活習慣改善に繋がることを期待している。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	Growbase/i-Wellness
内容	健康データ一括管理システム
導入時期	2021年度/2023年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健診予約のデジタル化・効率化および健診データの一元管理が実現したことにより、従来より早く健診結果を把握できるようになった。</li> <li>●今後、再検査の受診勧奨を早期に実施することで受診率が上がる見込みである。</li> </ul>

#### 施策内容(重点課題2)

がんリスクの早期把握を始めとした健康リスク度の定期チェックとリスク度に応じた生活習慣の改善

#### 具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	SalivaChecker(サリバチェッカー)
内容	がんリスク検査
導入時期	2024年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全社員に対し検査を実施予定。</li> <li>●2024年度は社員が「がん」に対する理解・関心を深め、リスクが見える化することで予防につながる健康づくりに積極的に取り組むことを期待している。</li> </ul>

### データ活用事例

事例名	問診・レセプトデータを活用した健康課題の可視化
内容	従来の健診・問診結果にレセプトデータを追加し分析を実施。結果の考察には当社コンサルタントのサポートを得、健康課題を可視化。多角的な視点から分析することで潜在的な課題を把握し、より具体的な健康経営施策に繋げPDCAサイクルを定着していく。
利用データ	レセプトデータ、健康診断、問診
利用者(ユースケース類型)	SHの健康経営推進グループ(人事部内)、産業医、産業保健スタッフ、健康経営推進委員

### 取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	-
今後取り組みたい施策の課題	-